

# ZEPHYROS

ゼフェロス No.63

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2015年5月20日発行

ISSN1342-8071



## ボルドー展

— 美と陶酔の都へ —

会期：2015年6月23日（火）～9月23日（水・祝） 企画展示室

## 「ボルドー展 — 美と陶酔の都へ —」



ウジェーヌ・ドラクロワ《ライオン狩り》  
1854-1855年 油彩/カンヴァス ボルドー美術館  
©Musée des Beaux-Arts - Mairie de Bordeaux. Cliché L. Gauthier

フランス南西部の港町ボルドーは、大西洋のほど近く、ガロンヌ河の流れに沿って三日月のかたちに発展したことから「月の港」とも呼ばれました。古代以来、貿易とワイン産業を町のなりわいとしたこの町では、繁栄を極めた18世紀に大規模な都市整備が進められ、壮麗な古典主義・新古典主義の建築が立ち並ぶ都市景観が生まれます。2007年には、ガロンヌ河岸の歴史地区を中心とする街の広い一帯が「月の港ボルドー」として世界遺産に登録されています。

本展覧会は、ボルドー市の全面協力の下、



ジャック・ユスタン陶器製作所  
(ボルドー)  
《銘々用のワイングラス・クーラー  
（「カルトジオ会修道院」セット）》  
1745-1750年頃 錫釉陶器  
ボルドー装飾芸術・デザイン美術館  
Collection du musée des  
Arts décoratifs et du Design.  
©Mairie de Bordeaux.  
Photo Lysiane Gauthier.

先史時代から現代にいたるまで数万年におよぶスケールで、ボルドーとその地域の美術と文化の展開を紐解くものです。街の繁栄を生み出したワイン産業との関わりに目を配りつつ、数々の美術作品や歴史資料の展示を通じて、古典のエレガンスと、商業と海運の都市ならではのコスモポリタニズムをあわせ持つ都市の魅力を浮き彫りにします。総数200点を超える多様な作品・史料とともに、ボルドーの悠久の歴史を旅していきます。

展覧会は、ボルドー美術館、アキテーヌ博物館、ボルドー装飾芸術・デザイン美術館、CAPCボルドー現代美術館、市立図書館、市立公文書館と、ボルドー市が誇る6つの主要文化施設のコレクションを中心に構成されます。1870年に火災に見舞われたものの、辛くも焼失を免れたドラクロワ晩年の重要作《ライオン狩り》や、黄金期のボルドーの港のイメージを永遠に留めたピエール・ラクルの



オディロン・ルドン  
 《ライオン狩り》(ドラクロフ作品に基づく模写)  
 1860-1870年 油彩/カンヴァス  
 オルセー美術館(ボルドー美術館へ寄託)  
 ©Musée des Beaux-Arts - Mairie de  
 Bordeaux. Cliché F. Deval

《ボルドーの港と河岸の眺め(シャルترون河岸とバカラン河岸)》などの横幅3メートルを超える大作をはじめ、街にゆかりのある画家や作品を紹介するとともに、貴重な考古・歴史資料から、在りし日の市民生活を物語る華麗な装飾芸術品、さらには、ボルドーが文学思想界に輩出した偉大な「3M」—モンテーニュ、モンテスキュー、モーリヤック—の著作や関連作品まで、幅広い展示をおこないます。

また、アキテーヌ地方は、ラスコーをはじめとする旧石器時代の多数の洞窟遺跡で知られる重要な人類文化の揺籃の地でもあります。本展は、約2万5000年前にさかのぼる貴重な浅浮彫、《角を持つヴィーナス(ローセルのヴィーナス)》で幕を開けます。豊穡の象徴とも考えられる三日月型の角は、ボルドーの栄光を築いたワインを生み出す自然の恵み、そして「月の港」の連想へと誘うことでしょう。(国立西洋美術館主任研究員 陳岡 めぐみ)



《角を持つヴィーナス(ローセルのヴィーナス)》  
 25,000年前頃 石灰岩 アキテーヌ博物館  
 ©Musée d'Aquitaine - Mairie de Bordeaux. Cliché L. Gauthier



アレクサンドル・ジャン・デュ  
 ボワ=ドラオネ  
 《ボルドー公爵の肖像》  
 1828年 ボルドー美術館  
 (ボルドー装飾芸術・デザイン  
 美術館へ寄託)  
 油彩/カンヴァス  
 ©Musée des Beaux-Arts -  
 Mairie de Bordeaux.  
 Cliché F. Deval

表紙  
 ビエール・ラクール(父)  
 《ボルドーの港と河岸の眺め(シャルترون河岸とバカラン河岸)》  
 1804-1806年 油彩/カンヴァス ボルドー美術館  
 ©Musée des Beaux-Arts - Mairie de Bordeaux.  
 Cliché F. Deval

**ボルドー展 —美と陶酔の都へ—**

一般 1,600円(1,400円)  
 大学生 1,200円(1,000円)  
 高校生 800円(600円)

\*中学生以下、心身に障害のある方および付添者1名は無料(入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。)

\* ( )内は20名以上の団体料金

\*本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

## 常設展2015年春の新規展示作品について



フアン・バン・デル・アメン  
《果物籠と猟鳥のある静物》  
1621年頃 油彩/カンヴァス  
国立西洋美術館



ヨハネス・フェルメールに帰属  
《聖ブラクセデイス》1655年  
油彩/カンヴァス  
個人蔵(国立西洋美術館へ寄託)

今春、国立西洋美術館の常設展には新たに4点の作品が加わりました。いずれも16、17世紀の作品で、これまでの当館の収蔵品がカバーしていない分野を代表するものです。本稿ではそのなかから17世紀の作例である2点を簡単にご紹介しましょう。

フアン・バン・デル・アメン(1596-1631年)による大型の静物画《果物籠と猟鳥のある静物》(2014年度購入)は、スペインの古典絵画として当館25年ぶり、4作目の収蔵となります。「ボデゴン」と呼ばれるスペインの静物画は、独特の荘厳さと見る者の目を欺くようなリアリズムを特徴とする重要なジャンルです。バン・デル・アメンはマドリードで活躍しスペイン静物画の展開に決定的な貢献を成した画家で、本作は彼の初期の野心作と位置付けられるものです。同時代のオランダやフランドルの静物画は既に収蔵されていますので、それらと見比べてみると、国や流派による表現の差異が良くわかるのではないのでしょうか。

そして個人収集家からの寄託作品としてお目見えしたのが、オランダの風俗画家として

名高いヨハネス・フェルメール(1632-75年)に帰属される《聖ブラクセデイス》です。これはフェルメールの最初期の作品と目されるものですが、同時代のイタリア絵画の模写であり、この画家の典型的な作風とは異なります。しかし、聖女の手に十字架が描き加えられているなど、単なる模写とは考えられない特徴を有した謎に満ちた作品です。実際にフェルメールの作品かどうか専門家の間でも意見が分かれている作品ですが、長らく個人コレクションに秘蔵されてきた作品であり、研究者や一般の愛好家に実見、調査の機会を提供すべく公開いたします。是非ともこれを機に常設展に足を運んでいただき、ご自分の目で作品をご覧になっていただきたいと思います。

(国立西洋美術館研究員 川瀬 佑介)

### 常設展

一般 430円(220円)

大学生 130円(70円)

\*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料  
(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。)

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

## 本館建物 Q&A

日頃、数多く寄せられている建物に関するご質問にお答えします。

答える人：国立西洋美術館専門職員 福田 京

### Q > 建築に詳しくなくてもわかる建物解説のようなものありますか。

A 常設展入口で「建築探検マップ」を配布しています。本館を設計したフランス人建築家ル・コルビュジエ(1887-1965)は、合理性や機能性を追求した近代建築作品や理論を発表し、20世紀における世界中の建築や都市計画に大きな影響を与えた人物です。

それまでのレンガや石造りの建物では壁で建物を支えていましたが、柱で支えることで地上部分から人が自由に出入りできる見通しの良いピロティや、建物の中心から螺旋状に回遊することができる展示室など、ル・コルビュジエの豊かな空間と様々なアイデアを16のチェックポイントで巡ることができるようになっています。



建築探検マップ

### Q > 建築探検マップに載っていない見どころは他にもありますか。

A 絵画や彫刻など芸術作品の制作も精力的に行っていたル・コルビュジエは、建物で使用する色見本帳を出版するほど色彩にも強い関心を持っていました。本館を設計した時も2階展示室内の仕上げについて、高い壁と天井は白色、低い壁を木製で、床と低い天井は黒色で仕上げるように指示しました。

1959年の完成当初、木製と指示された場所は「ラワン煉付(ねりつけ)ベニヤ」という光沢のある黄土色の壁でした。防火上の理由から現在は不燃材料に交換していますが、木製だった場所は淡いベージュで塗り分けています。絵画作品が展示してある壁がどのような色かも注目してみてください。



1961年の本館



現在

※本年はル・コルビュジエ没後50周年にあたり、夏期にル・コルビュジエに関する小企画展を予定しています。

# EVENT イベント

## ボルドー展 — 美と陶酔の都へ —

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

### ● 講演会

日時：6月23日(火) 14:00~15:30

※同時通訳付き

ニコラ・バルベ (ボルドー市立図書館文化遺産課長)

「『月の港ボルドー』の3つの三日月

：モンテーニュ、モンテスキュー、  
モーリヤックのボルドー」

日時：8月22日(土) 14:00~15:30

土居 義岳 (九州大学大学院教授)

「ボルドー：建築をとおして都市の  
生き残り戦略史を読む」

日時：7月18日(土) 14:00~15:30

陳岡 めぐみ (国立西洋美術館主任研究員)

「ボルドーと画家たち」

日時：9月5日(土) 14:00~15:30

赤澤 威 (国際日本文化研究センター名誉教授)

「角を持つヴァーナス(ローセルのヴァーナス)に  
刻まれた世界：作者クロマニョンの見たヨーロッパ」

会場：国立西洋美術館講堂 (地下2階)

定員：各回先着 140 名 (聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券が必要です。)

参加方法：当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます (自由席)。

### ● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。

日時：7月3日(金)、7月17日(金)、8月7日(金)、8月21日(金)、9月11日(金)  
各回18:00~(約30分)

会場：国立西洋美術館講堂 (地下2階)

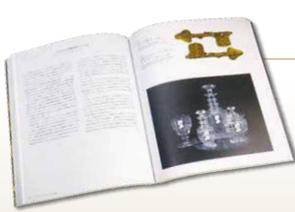
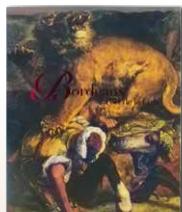
解説者：鈴木 一生 (成城大学)

定員：各回先着 140 名 (聴講無料。ただし、本展の観覧券が必要です。)

※直接講堂にお越しください (開場時間は各日とも開演の 30 分前)。

※講演会、スライド・トークのタイトル・内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル (03-5777-8600) でご確認ください。



## 展覧会カタログ

6月23日(火) から9月23日(水・祝)  
まで開催の「ボルドー展 — 美と陶酔  
の都へ —」のカタログです。

2,500 円 (税込み)

# Museum shop

ミュージアム  
ショップ

おすすめ商品

## ●オリジナルネクタイ 考える人

素材：絹100% 各7,560円（税込み）

京都・西陣の絹糸を使用したジャカード織で、考える人の立体感にこだわりました。

ドットをアクセントにしたシンプルな柄と、軽妙ながらどんなシャツにも合わせやすいチェック柄で上品に仕上げました。



## Café カフェすいれん



「ボルドー展 一美と陶酔の都へ」特別メニュー

期間 6月23日(火)～9月23日(水・祝)

### ●パテ・ド・カンパーニュ 864円（税込み）

豚肉とレバーのパテにピスタチオが入ったパテ・ド・カンパーニュ、つけあわせは玉ねぎです。ワインと合わせてどうぞ。

〔赤ワイン〕

カステル パロン ド レスタック ボルドールージュ	グラス	¥648（税込み）
ボルドールージュ ミディウムボディ	グラス	¥756（税込み）
シャトー・デュ・クロ・ドロール	グラス	¥864（税込み）

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェすいれん）で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）詳細については、当館ホームページをご覧ください。

# 展示カレンダー [企画展示/常設展示]

2015年5月～10月

休館日 土・祝日

**MAY 5** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日

**グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家** 3月3日(火)～5月31日(日) (企画展示室)

**世紀末の幻想—近代フランスのリトグラフとエッチング** 3月17日(火)～5月31日(日) (新館2階 版画素描展示室)

**JUN 6** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火

**ボルドー展 —美と陶酔の都へ—** 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室)

**JUL 7** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金

**ボルドー展 —美と陶酔の都へ—** 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室)

**寄託作品によるル・コルビュジエ展** 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室)

**AUG 8** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月

**ボルドー展 —美と陶酔の都へ—** 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室)

**寄託作品によるル・コルビュジエ展** 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室)

**SEP 9** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水

**ボルドー展 —美と陶酔の都へ—** 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室)

**寄託作品によるル・コルビュジエ展** 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室)

**OCT 10** 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土

**寄託作品によるル・コルビュジエ展** 7月14日(火)～10月4日(日) (新館2階 版画素描展示室)

全館休館 10月5日(月)～10月9日(金)  
**黄金伝説展** 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝) (企画展示室)  
常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)

## ●臨時開館・臨時休館・一部閉室のお知らせ

- \* 5月18日(月)、8月10日(月)、10月13日(火)は開館します。
- \* 10月5日(月)～10月9日(金)は館内整備のため全館休館します。
- \* 10月15日(木)は展覧会準備のため、全館休館します。
- \* 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)は施設整備のため本館展示室を閉室します。

## ●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。  
(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

\* 展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

\* 作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

## 国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分  
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時  
\* 入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)  
\* その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600  
<http://www.nmwa.go.jp/>

\* 誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運び春の風をさします。

# ZEPHYROS

ZEPHYROS 第63号

編集・発行 国立西洋美術館/2015年5月20日(年4回発行)  
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団  
印刷 (株)アイネット